

林業技術センター  
普及班便り  
(第29回)

# いわての林業人8

## 一 はじめに

今月の普及班便りでは、岩手町の横澤孝志さんをご紹介します。



よこざわ たかし  
横澤 孝志さん

## 二 人物紹介

### 「プロフィール」

横澤さんは岩手町の生まれ。

お父様が代表を務められている横澤林業株式会社専務として、造林から素材生産まで、林業全般に広く携わる若き経営者です。

小さなころから家族で山仕事の現場に行き、おばあさんと野草を摘んだりして遊ぶなど、山に慣れ親しんでいたそうです。

高校は盛岡農業高等学校の林業科に進学され、そこで林業を学ばれました。



八幡平市内の皆伐作業現場

高校卒業後、横澤林業株式会社に入社され、以来10数年に渡り地元で山仕事をされておられます。

平成20年には岩手県林業作業士（グリーンマイスター）を取得、機械関係の様々な資格を取得されるなど、現場での作業から会社役員としての仕事まで、多忙な日々を送られています。

仕事を終えて家に帰ると二歳の息子さんが出迎えてくれるそうで、仕事の疲れも癒されるとのことでした。

## 三 仕事の状況

### (1) 山での仕事

小さなころから山に親しんできた横澤さんが、初めて山仕事を行ったのは中学生の時。植林の手伝いだった

たそうです。

初めは元気に作業をしていたものの、山仕事のハードさにあえなく午前中でダウン。午後は木陰で休んでいたそうです。

就職してからはチェーンソーを持つて伐倒作業を行ったそうですが、初めての作業でなかなかうまくいかず、そのうちプロセッサやグラップルなどの重機に乗るようになったとのこと。

現在ではチェーンソーはもちろん、重機、トラックまで様々な機械を使いこなし、県内各地のほか、遠くは

仙台方面まで、様々な場所を走り廻っておられます。

### (2) 今後の目標

横澤さんに今後の目標についてお話を伺ったところ、若い林業技術者の育成をしたいとのこと。

チェーンソーでの伐倒作業からグラップル、プロセッサ等重機を利用した作業まで、ひと通りの仕事の内容を理解した上で、効率よく作業を進めるために必要なことを考え、常に改善することのできる、総合的な林業技術者の育成を目指しているそうです。



無駄のない積み込み作業

「大変だとは思いますが是非とも育成したい」との言葉には、会社の経営者の一員としての責任を果たさなければという強い気持ちを感じ取ることができました。

## 四 おわりに

普及班便りでは、これからも森林・林業に携わるさまざまな方々を紹介していきます。

皆様の地域で活躍されている方がおられたならご連絡ください。

林業技術センター普及班